



防災教育学習「四万十市こども防災キャンプin八束」

四万十市立八束小学校 令和6年10月26日(土) 9:00～13:25

開催報告

10月26日(土)に四万十市立八束小学校で、防災教育学習「こども防災キャンプ」を開催しました。学習には、八束小学校の児童の皆さんとご家族、地域の方々の約140人が参加しました。

体験学習では、「降雨体験装置 大粒くん小粒ちゃん」で180mm/hの降雨体験や「土石流3Dシアター」で土石流の疑似体験を行いました。

「灯りづくり」では、日用品(サラダ油、ティッシュペーパー、アルミホイル)を使って非常灯の作り方を学習しました。

その他にも、起震車体験や煙脱出訓練、南海トラフ地震学習、津波映像学習などを通じて、防災に関する知識を学習しました。

こども防災キャンプの概要

こども防災キャンプは、今後、高い確率で起こるとされている、南海トラフ地震や集中豪雨による土砂災害などについて、こども達が家族と一緒に、いざという場合の対応方法を学び、自分の安全を自分で守る力を身につけることを目的としています。

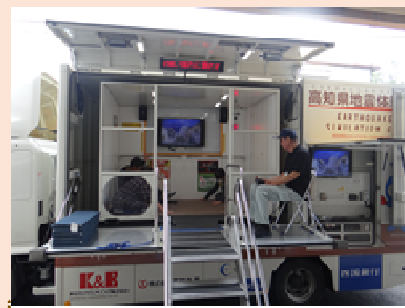
また、地域の方とも一緒に学ぶことで、自分や家族だけでなく地域の身近な人たちと協力して命を守ることの重要性についても考えてもらいます。



降雨体験



土石流3Dシアター



起震車体験



煙脱出体験



南海トラフ地震学習



灯りづくり



津波映像学習